

Takara standard

洗面化粧台

設置説明書

エリシオ



もくじ

安全上のご注意	2
工事区分の確認	3
設置前のご確認	3
組立配管図	3
設置手順	7
調整のしかた	14
点検・仕上げ	16
お願い事項	16

- ◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ◆設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。

- ◆水栓の水量調整及び器具の点検を容易にするため、必ず止水栓をご使用ください。
- ◆給排水工事は、必ず水道局指定工事に依頼してください。
- ◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- ◆本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万ーの場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
- ◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。



工事区分の確認

■洗面化粧台の設置作業は、組付け前後に大工事・電気工事・管工事が必要です。事前に工事区分を明確にするために、現場責任者と十分打ち合わせを行ってください。

工事区分	業種区分	作業名称(区分)
設置前工事	大工事 電気工事 管工事	建築壁の下地工事、建築壁の造作・壁仕上げ工事 電気配線事前工事 給水・給湯配管立上げ工事、排水管立上げ工事
洗面化粧台設置	建設工事 外区分	洗面化粧台の取付 ミラーキャビネットの取付 ウォールキャビネットの取付 ツールキャビネット等の取付 排水部品の組立 水栓類の組立・取付 製品間のコーキング処理作業 試運転、完成検査
設置後工事	電気工事 管工事	ミラーキャビネット等の電気接続工事 給水・給湯配管接続工事、排水管接続工事

設置前のご確認

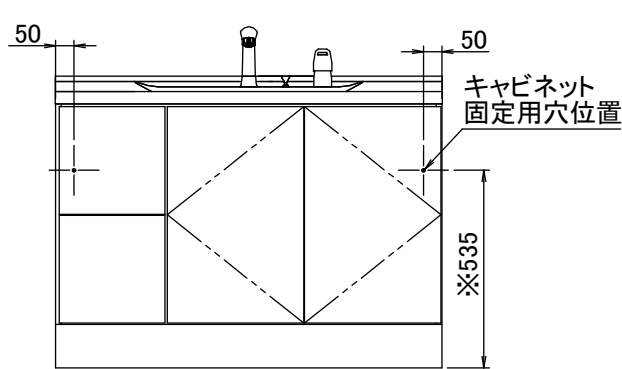
- ・屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。(給排水位置図参照)
- ・固定下地には、ネジ固定位置を中心に十分な強度を持つ厚み12mm、幅100mm以上の合板が貼られているか確認し、所定の付属ネジを使用して手順通り確実に行ってください。(キャビネット壁面固定位置図参照)

組立配管図D

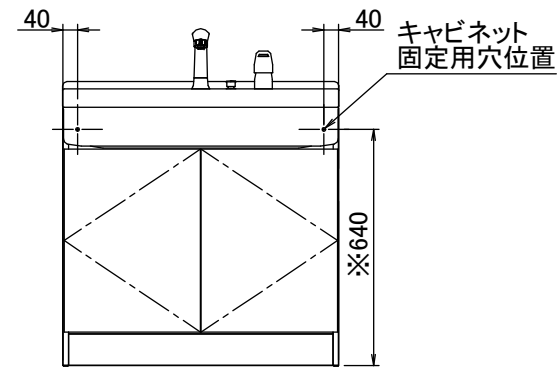
下台壁面固定位置

●注意 図はカウンター高さ75cmの場合の寸法です。
カウンター高さ80cmの場合、※印の寸法は+50mmとなります。

※下記A～Fは、P.4～6に対応します。



A,B,C,D 人大カウンタータイプ



E.①、② ホーローボウルデッキ水栓タイプ
E.③ ホーローボウルハイバックタイプ
F. ポリエステル(光沢) 人大フラットカウンタータイプ

安全上のご注意 必ずお守りください

- 設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

⚠ 警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

❗ 必ず実行 このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

🚫 禁止 このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

警告

- 壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う
固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。
- 水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う
接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因となります。

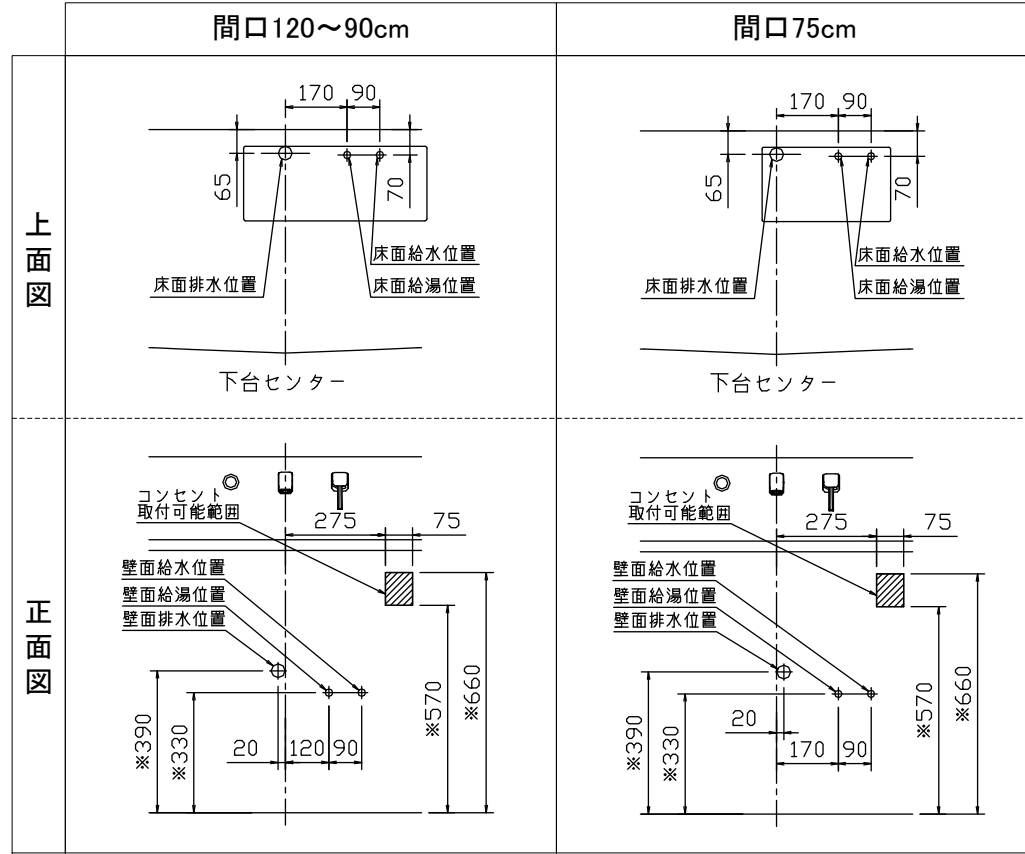
注意

- 組み込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する
設置を誤ると思わぬ事故や故障の原因になります。
- ストラップと排水管との接続は設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う
接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。
- 排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う
接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。
- 排水器具(ポップアップつまみ・ストラップ)のナットを締める際は手で強く締める
工具を使用してナットを締めると、過度の力によりナットが割れて水漏れが発生するおそれがあります。
- 扉や引出表板を調整する時は、手回しドライバーを使用する
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。
- 設置完了後、排水栓を閉栓した状態で吐水を全開にして水がボウル面からあふれそうな場合は止水栓をしばらく流量調整する
水があふれることで拡大損害につながるおそれがあります。
- 設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁寧のゆるみがないことを必ず確認する
扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。

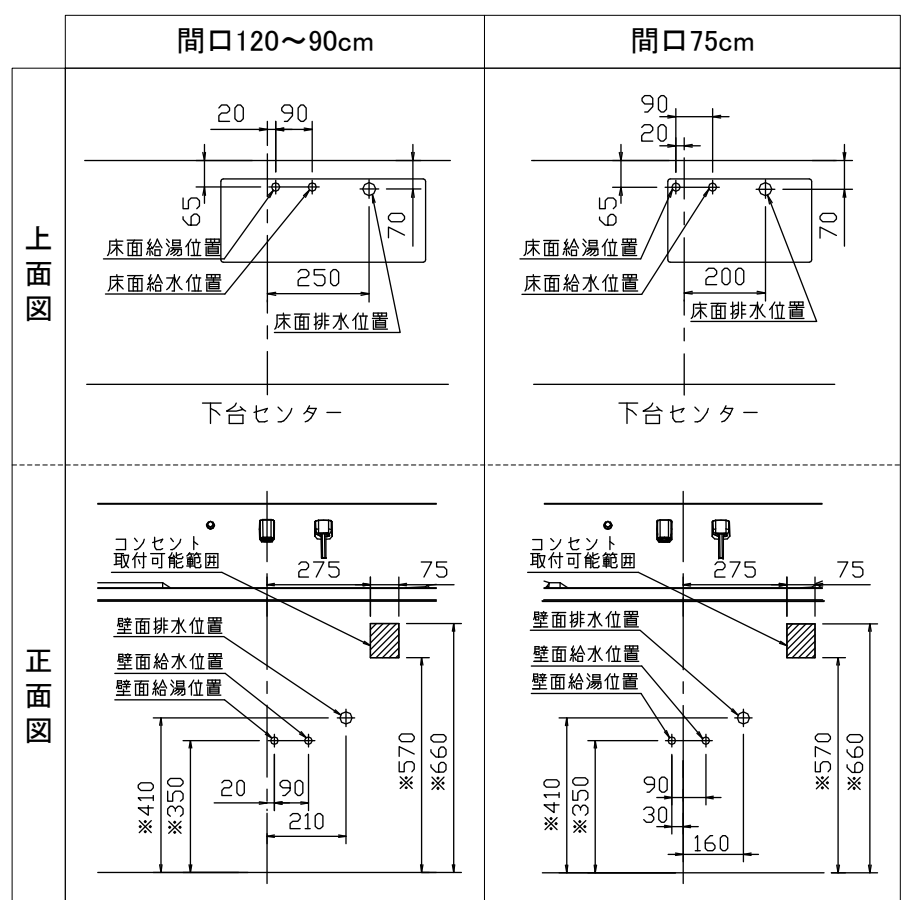
- ストラップをU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない
使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。
- 工具類等をキャビネットに落としたり当てたしない
キズがついたり欠けたりするおそれがあります。
- 設置する時にカウンターやボウルに乗らない
ボウルが割れたりキズがつくおそれがあります。
- 浴室内等の湿気の多い場所への設置は避ける
製品が早く傷むおそれがあります。
- 直射日光や殺菌灯があたる場所、高温になる場所への設置は避ける
プラスチック部品や塗装部品が変色するおそれがあります。

禁止

B. アクリル人大(光沢) ハイバックカウンター(奥行き600mm)タイプ

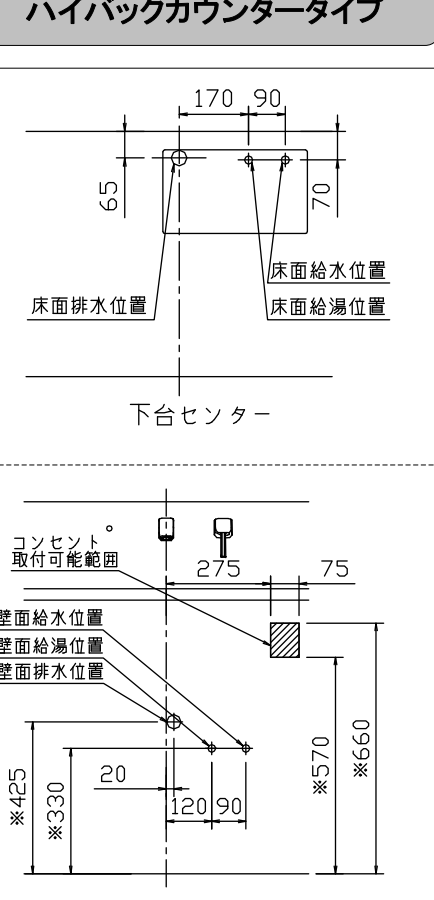


C. アクリル人大(光沢) ハイバックカウンター(奥行き550mm)タイプ



●注意 図中のコンセント取付可能範囲は、自動水栓の場合を示します。

D. ポリエステル人大(光沢) ハイバックカウンタータイプ



設置手順

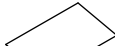
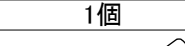
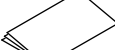
- 【洗面化粧台の設置手順】
洗面化粧台の設置は下記の手順にしたがってください。
- 人大フラットカウンタータイプ(A)の場合
(ミラーパネル設置時)
①ミラーキャビネット → ②ミラーパネル → ③洗面下台
(ミドルミラー設置時)
③洗面下台 → ②ミドルミラー → ①ミラーキャビネット
- 人大ハイバックカウンタータイプ(B,C,D)の場合
①洗面下台 → ②ミラーキャビネット
- ホーローボウル(E)・ポリエステル人大フラットカウンタータイプ(F)の場合
①洗面下台 → ②ミラーパネル → ③ミラーキャビネット
※ミラーキャビネット・ミラーパネルの設置は、各製品に付属している設置説明書にしたがってください。

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

- (1) 付属部材の確認 → (2) 水栓の取付 → (3) 排水部品の取付 → (4) 底面養生材の取り外し
- (5) カウンターの固定 → (6) キャビネットの設置 → (7) 給排水管の接続 → (8) 電源の接続
- ※ハイバックカウンターのみ ※自動水栓のみ
- (9) ミラーキャビネットの設置 → (10) コーキング処理 → (11) 扉・引出・スライド扉の調整

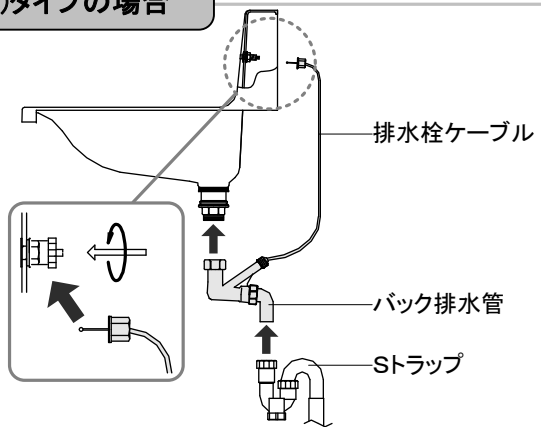
(1) 付属部材の確認

- 付属部品が揃っているか確認してください。
本書に記載以外の商品については、それぞれに付属している設置説明書に基づいて確認してください。

○共通部品				
小物セット(ホーローボウルハイバック以外)				同梱部品
取扱説明書・設置説明書 1部ずつ	サラタッピンネジ 4.5×60(2本)	トラスタッピンネジ 4×12(4本) 3.5×14(6本)	ネジキャップ 2個	ストラップまたは S直管トラップ 1個
				
小物セット(ホーローボウルハイバックのみ)				
取扱説明書・設置説明書 1部ずつ	サラタッピンネジ 4.5×60(2本)	防水ガイド 1個	ガイドパイプL100 1個	ネジキャップ 2個
				
				

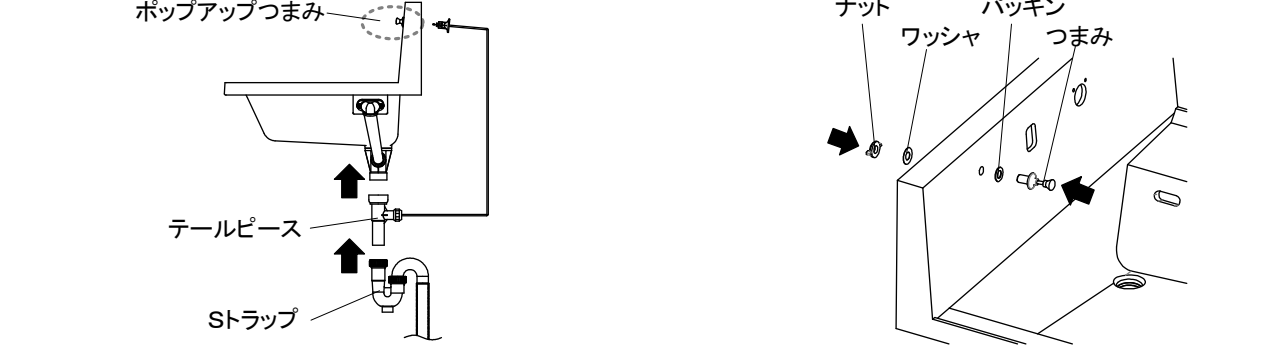
B. アクリル人大(光沢)ハイバックカウンター(奥行き600mm)タイプの場合

- ①バック排水管、ストラップを取付けてください。
- ②バック排水栓ケーブルをスイッチに接続してください。



C. アクリル人大(光沢)ハイバックカウンター(奥行き550mm)タイプの場合

- ①テールピース、ストラップを取付けてください。
- ②ポップアップつまみをカウンターに取付けてください。



- ③テールピースのワイヤー先端をポップアップつまみの溝に引っかけた状態で、つまみを前方に引き出してください。
- ④テールピースのワイヤーガイドをポップアップつまみにネジ部にねじ込んでください。



ご注意 ○ワイヤーガイドは、必ずポップアップつまみネジ部の奥までねじ込んでください。ねじ込みが不十分だとポップアップの動作不良につながります。

D. ポリエステル人大(光沢)ハイバックカウンタータイプの場合

- ①テールピース、ストラップを取付けてください。
- ②手でポップアップつまみの台座を取り付けてください。[図A]

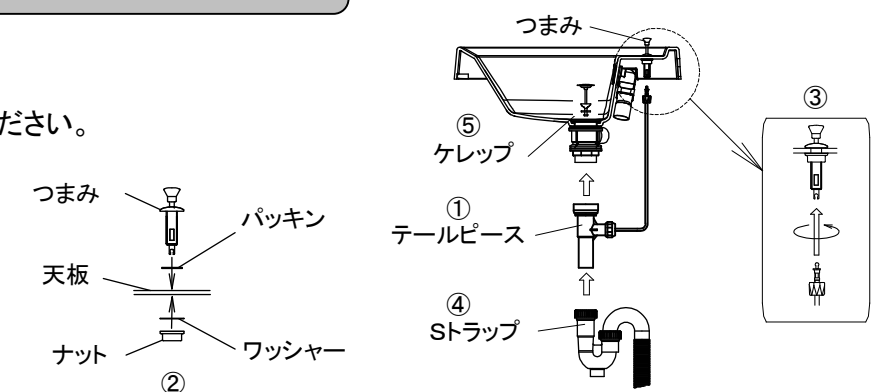
ご注意 ○工具を使用せずに、ゴム手袋着用等滑りにくい状態で手締めしてください。ツマミガイドを傷つけるおそれがあります。

- ③テールピースのワイヤー先端をポップアップつまみの台座に差し込んだ後、台座が回転しないように手で押えながらねじ込んで固定してください。[図B]
- ④ポップアップのつまみ部分をワイヤー先端にねじ込んでください。[図C]

9

F. ポリエステル人大(光沢)フラットカウンタータイプの場合

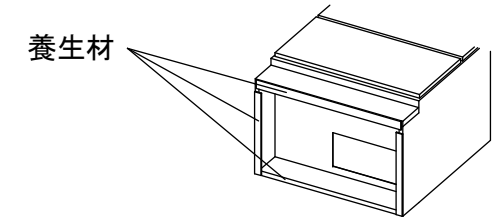
- ①テールピースを取付けてください。
- ②つまみを取付けてください。
- ③テールピースとつまみを接続してください。
- ④ストラップを取付けてください。
- ⑤ケレップを取付けてください。



(4) 底面養生材の取り外し

底面に養生材が取り付けられている場合は取り外してください。

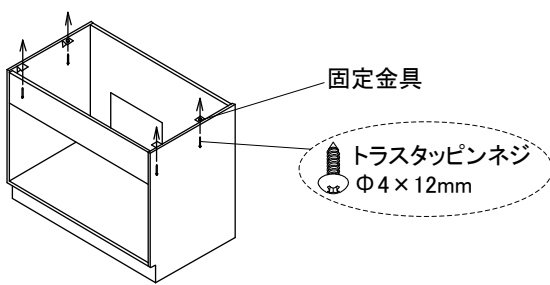
ご注意 ○養生材が取り付けいた状態でキャビネットを設置すると、外観や、取付高さの不良につながります。



(5) カウンターの固定 ※ハイバックカウンターの場合のみ

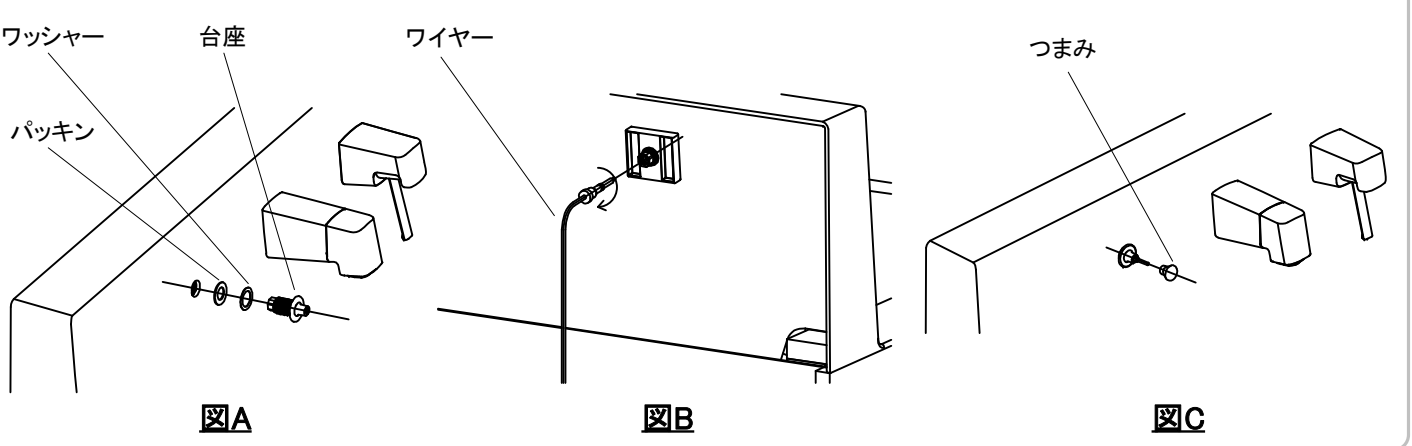
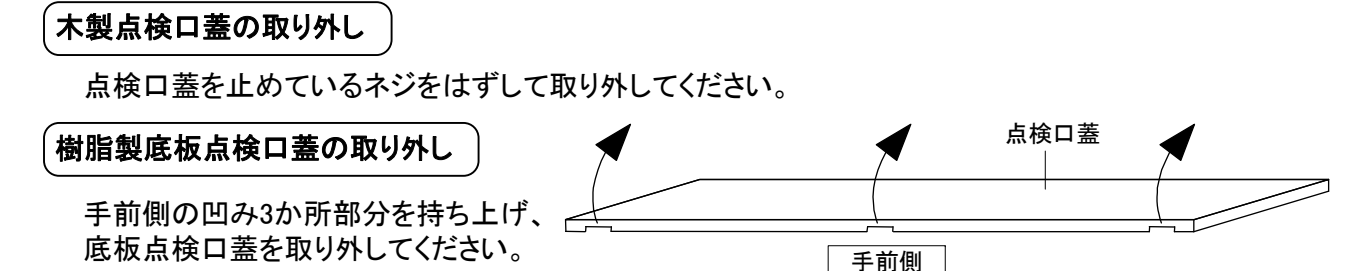
キャビネット両側の固定金具を介してトラスタッピンネジ(4×12)4本で固定してください。

ご注意 ○キャビネットとカウンターにすき間が発生する場合は、固定金具の上下位置を調整して取付けてください。



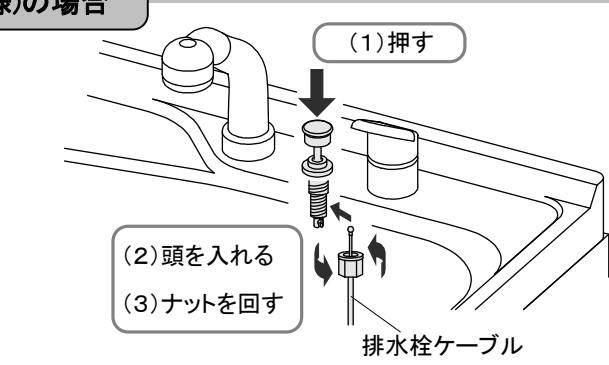
(6) キャビネットの設置

- ①点検口蓋をはずしてください。(引出タイプの場合は引出も外してください)



E.② ホーローボウルデッキ水栓タイプ(ポップアップ仕様)の場合

右図のように排水管から出ている排水栓ケーブルをポップアップつまみに接続してください。



E.③ ホーローボウルハイバックタイプの場合

- ①ポップアップつまみをカウンターに取付けてください。



- ②ポップアップつまみを押し込み、ボウル立ち上りの背面に排水栓ケーブルを引き出してください。
- ③つまみ溝とケーブル引掛け穴を合わせて、排水栓ケーブルをポップアップつまみに接続してください。



ご注意【ホーローボウル(ハイバックタイプ・デッキ水栓タイプ)共通】

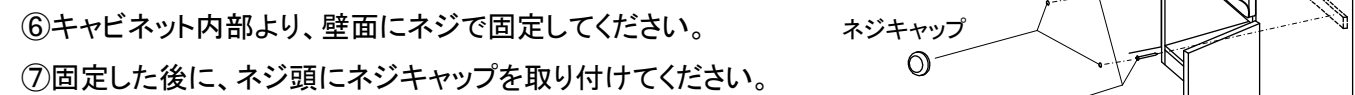
○ポップアップワイヤーが排水器具のツメから外れている場合は、必ずツメに引っかけてください。(ワイヤーは排水器具からのたるみが約20mmになるように引っかけてください。)

10

- ②壁面配管で後板点検口蓋が付いていない場合、現場の配管位置に合わせて必要な穴(給水管・給湯管・排水管用)を後板に加工してください。
- ③自動水栓の場合、所定の範囲内(P.5)にコンセントが取り付くように、後板に穴をあけてください。
- ④自動水栓の場合、③の穴から電源コードを引き込み、コンセントを後板に取り付けてください。

- ⑤キャビネットを所定の位置に設置してください。

ご注意 ○床が水平でない場合には、すき間に詰め物をしてガタツキのないよう水平に設置してください。



- ⑥キャビネット内部より、壁面にネジで固定してください。

- ⑦固定した後に、ネジ頭にネジキャップを取り付けてください。

(7) 給排水管の接続

給排水の接続の前作業

- ・床面配管の場合、現場の配管位置に合わせて、必要な穴(給水管・給湯管・排水管用)を底板点検口蓋に加工してください。
- ・壁面配管で、キャビネットに後板点検口蓋が付いている場合、現場の配管位置に合わせて必要な穴(給水管・給湯管・排水管用)を後板点検口蓋に加工してください。

給水管・給湯管の接続

- ①前作業であけた穴に給水管・給湯管を通して、止水栓を給水管・給湯管に接続してください。
- ②水栓付属の説明書にしたがって、水栓と止水栓を接続してください。

ご注意 ○バックンの取付け位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。水漏れの原因となります。
○金属製のナット類は十分締め付けてください。締め付け不良の場合、水漏れの原因となります。
○凍結防止や結露防止が必要な場合は、配管に保温材を巻く等の保温処理を施してください。

排水管の接続

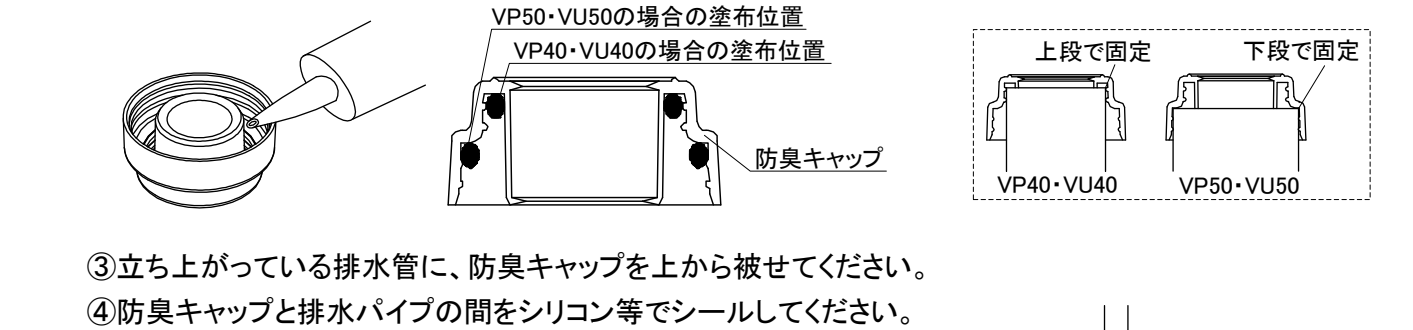
作業前に床排水か壁排水かを確認してください。壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。排水管の接続工事は、各地水道局指定工事店に依頼してください。
※防臭キャップは、VP40・VU40・VP50・VU50Iに対応しています。

●床排水の場合

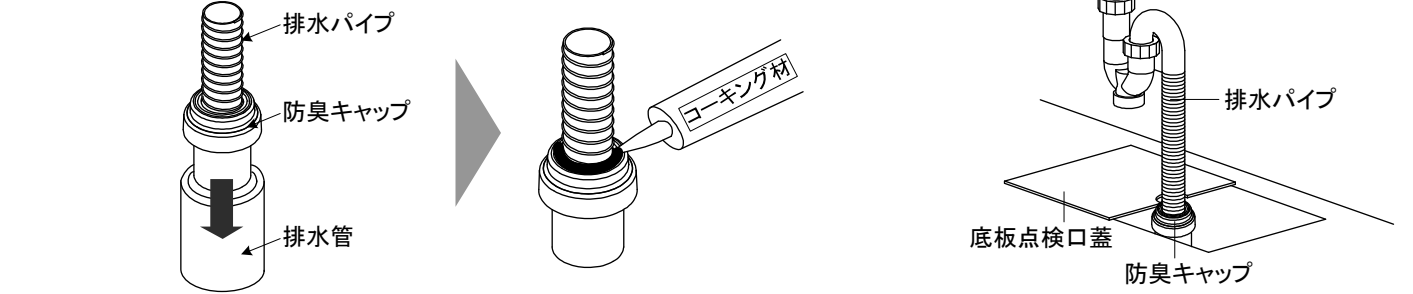
- ①排水パイプを底板点検口蓋に通し、防臭キャップを排水パイプに取付けて排水管の位置確認を行い、排水の長さを調節してください。

ご注意 ○排水パイプが長い場合は、必ず切断してください。パイプが長いまま差し込むと、排水不良の原因となります。

- ②設置時にシール出来るように、防臭キャップ内面全面にシリコン等のコーキング材を塗布してください。



- ③立ち上がっている排水管に、防臭キャップを上から被せてください。
- ④防臭キャップと排水パイプの間をシリコン等でシールしてください。



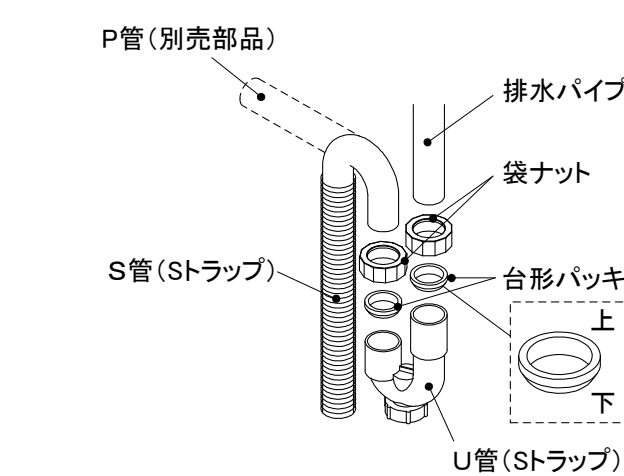
- ⑤底板点検口蓋を底板に取付けてください。

ご注意 ○すき間ができると臭気や湿気が漏れるおそれがありますので、完全にシールしてください。
○ナットを締める場合は、工具を使用せずに手締めしてください。袋ナットが破損するおそれがあります。
○U管接続用の台形バックンは、向きを逆にしたり、歪んだ状態で締め付けしないでください。水漏れの原因になります。
○凍結防止・結露防止が必要な場合は、配管に保温剤を巻く等の保温処理を施してください。

排水管の接続

●壁排水の場合

- ①後板(もしくは後板点検口蓋)にあけた穴に、P管を通してください。
- ②建物側の排水管にP管を差し込んだ後、P管とストラップのU管を確実に接続してください。
- ③P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続してください。
- ④後板点検口蓋を取付けてください。



(8) 電源の接続 ※自動水栓の場合のみ

水栓付属の説明書にしたがって、電源プラグを接続してください。

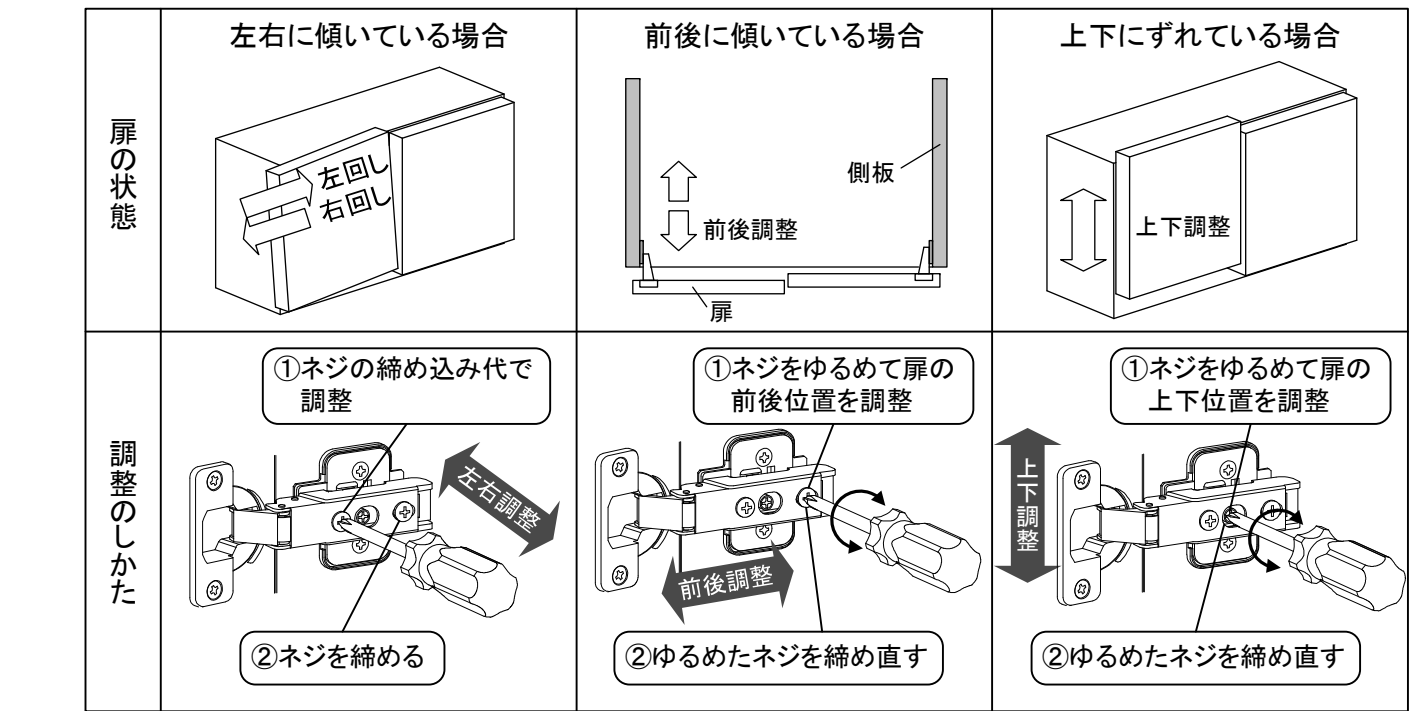
(9) ミラーキャビネットの設置

ミラーキャビネット付属の説明書にしたがって、ミラーキャビネットを設置してください。

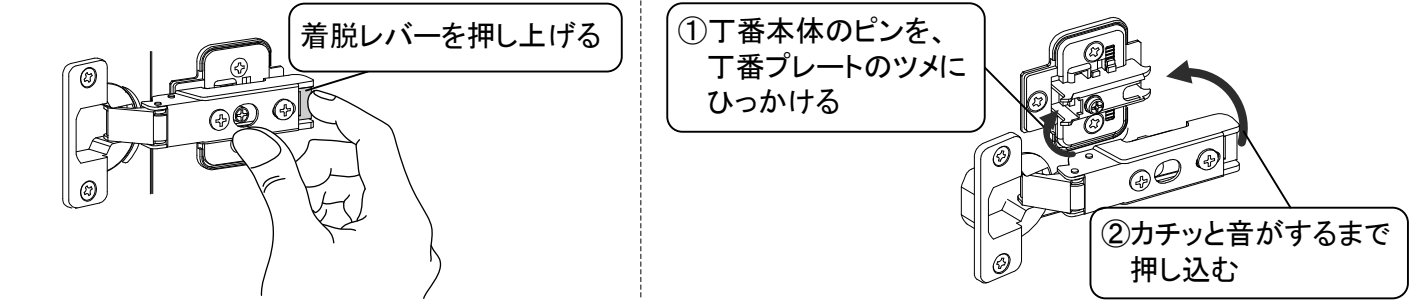
13

●扉が閉まらない・掛わない

丁番のネジで調整する。



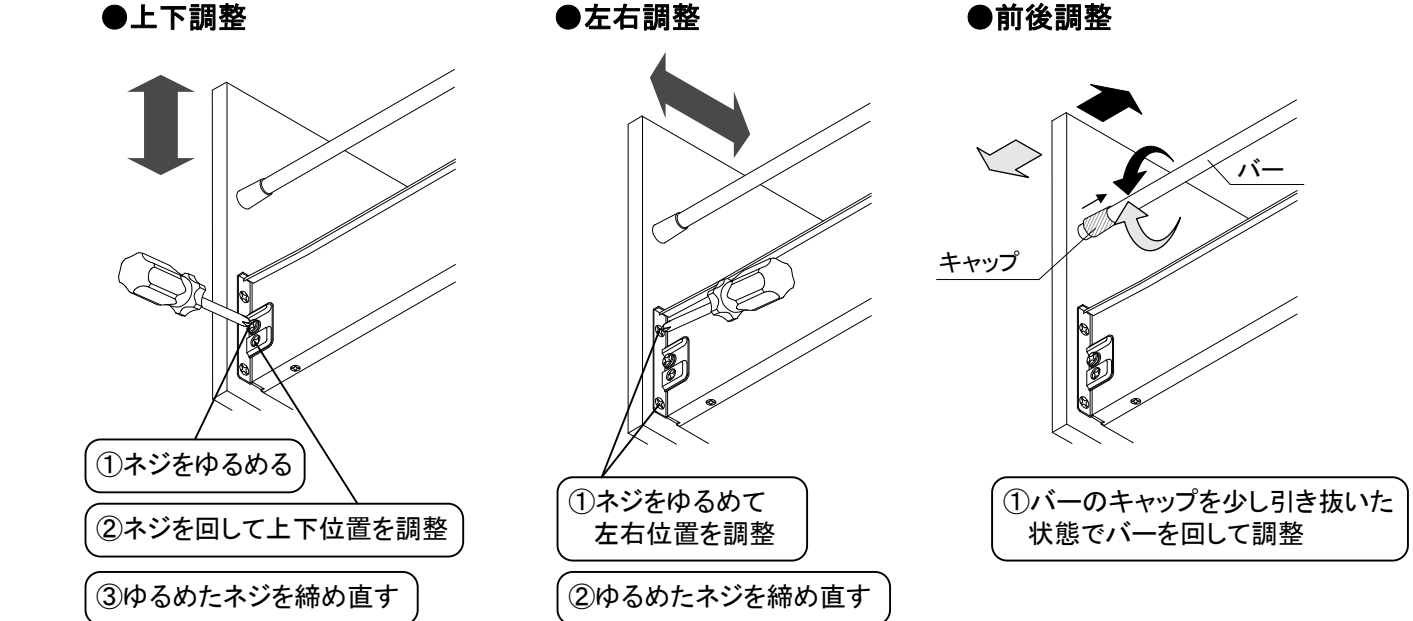
●丁番のはずしかた



引出し

■引出しの調整方法

<ローラーレールタイプの場合>

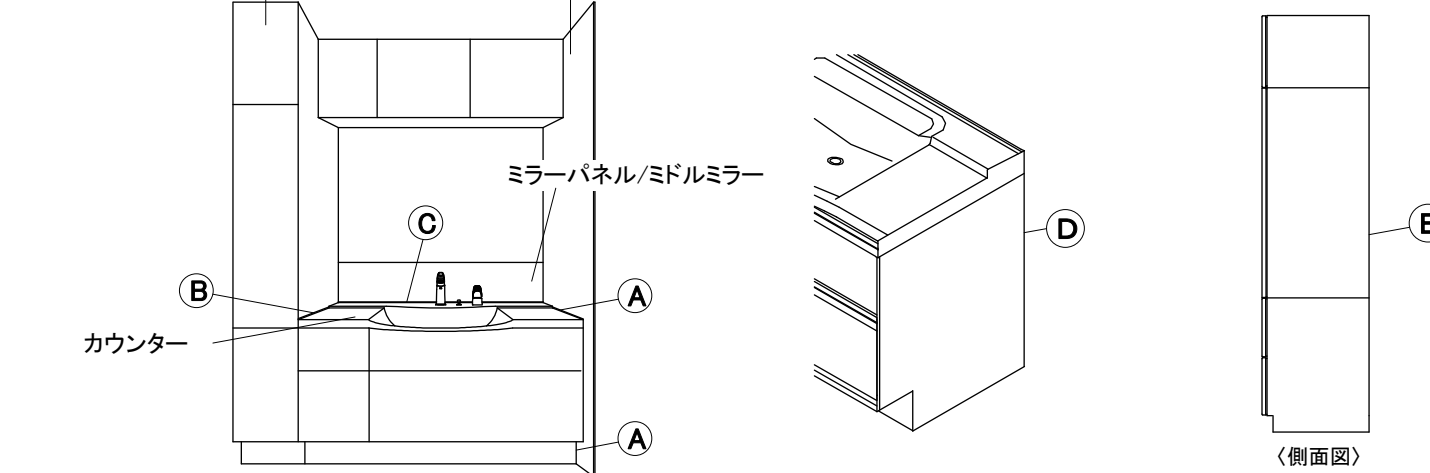


15

(10) コーキング処理

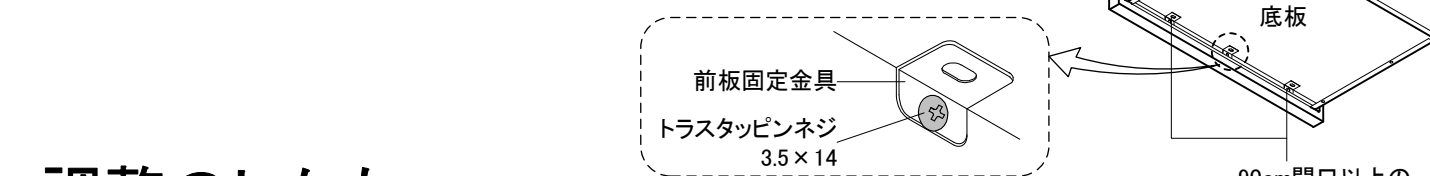
洗面下台に続いて、ミラーキャビネット・ウォールキャビネット・トールキャビネット等の設置が完了しましたら、外観向上および防水処理のため、次の箇所をシリコン剤(白)でコーキング処理を行ってください。

- A) カウンター/ボウル/ボウルキャビネット(台輪部分を含む)とホーロークリーン洗面パネル(または横壁)間の目地
- B) カウンター/ボウルとトールキャビネット間の目地
- C) カウンター/ボウルとミラーパネル間の目地
- D) 洗面下台と後壁面間の目地
※ミラーパネル(ホーロー製薄型)の場合のみ
- E) トールキャビネットと後壁面間の目地
※ミラーパネル(ホーロー製薄型)の場合のみ



(11) 扉・引出し・スライド扉の調整

- 扉・引出しに段違いや丁番のゆるみによるガタツキがないことを確認してください。不備がある場合は事項「調整のしかた」にしたがって調整してください。
- 調整後、60cm間口以上については前板固定金具と前板をネジで固定してください。ただし、90cm間口以上の引出しは、前板固定金具を3つ固定してください。



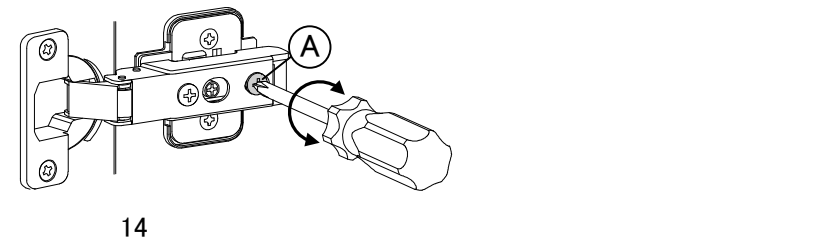
調整のしかた

扉

■丁番の調整方法 ※調整にはプラスドライバー➊が必要です。

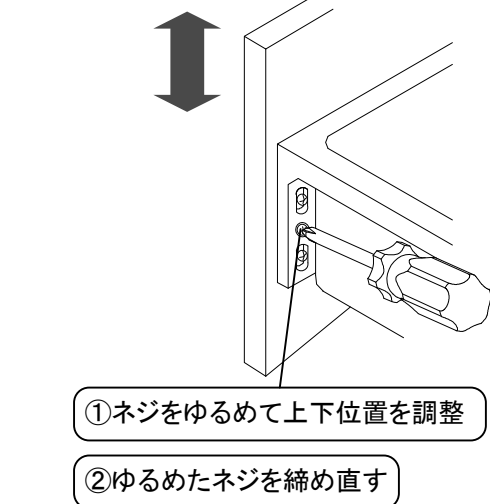
扉ががたついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記のを順に従って締め直または調整を行ってください。

- 扉ががたつく
(A)のネジをプラスドライバーで締める。



14

<樹脂引出しの場合>



点検・仕上げ

●安全点検

- ☑キャビネット本体と床の間でガタツキがないか確認してください。
- ☑取付部材がしっかりと固定されているか確認してください。
- ☑水栓の取扱説明書にしたがって、湯水混合栓の整流網をはずして水を流し、配管内のゴミや油を十分に洗い流した後、整流網を元通りに取付けてください。
- ☑配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- ☑シャワーホースがスムーズに出し入れできることを確認してください。
- ☑ポップアップを動かし、ポップアップ排水栓が動作することを確認してください。
- ☑電気温水器については、機器に添付されている試運転の方法または、操作手順にしたがって正常に動作することを確認してください。

●仕上げ

設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませ固くぼった布または水をよくきったスポンジで拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませ固くぼった布または水をよくきったスポンジで洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品色をいためるおそれがあります。

お願い事項

●商品の養生

すべての作業が完了しましたら、カウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

- 取扱説明書の保管・引渡し
洗面化粧台および組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて製品内部に収納し、お引渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しいください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。